

平成 24 年度
財政健全化審査
公営企業経営健全化審査
意見書

湯 沢 市 監 査 委 員

湯 監 第 26 号

平成 25 年 8 月 26 日

湯 沢 市 長 齊 藤 光 喜 様

湯 沢 市 監 査 委 員 石 川 耿 一

湯 沢 市 監 査 委 員 会 田 一 男

財政健全化審査意見並びに経営健全化審査意見について（提出）

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第 3 条第 1 項、第 22 条第 1 項の規定により、平成 24 年度の健全化判断比率、公営企業資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類について審査したので、結果について意見を提出する。

平成 24 年度 財政健全化審査意見書

1 審査の対象

実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率並びにその算定の基礎となる事項を記載した書類

2 審査の期間

平成25年 7月23日から平成25年 8月 1日まで

3 審査の概要

この財政健全化審査は、市長から提出された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が、適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

4 審査の結果

審査に付された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。

健全化判断比率は、次のとおりである。

健全化判断比率	平成24年度	早期健全化基準	平成23年度
実質赤字比率	0.00 %	12.63 %	0.00 %
連結実質赤字比率	0.00 %	17.63 %	0.00 %
実質公債費比率	14.3 %	25.0 %	15.4 %
将来負担比率	98.5 %	350.0 %	118.9 %

実質公債費比率については、平成24年度は14.3%となっており、早期健全化基準の25.0%を下回っている。また、前年度に比較して1.1ポイント改善している。これは、普通交付税などの増が主な要因となっている。

将来負担比率については、平成24年度は98.5%となっており、早期健全化基準の350.0%を下回っている。また、前年度に比較して20.4ポイント改善している。これは、債務負担行為に基づく支出予定額などの減が主な要因となっている。

これらについては、今後の環境変化に応じた将来推計の見直しが重要となってくるものであり、公債費及び将来負担の推移に留意するよう要望する。

平成 24 年度 経営健全化審査意見書

1 審査の対象

資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類

2 審査の期間

平成25年 7月23日から平成25年 8月 1日まで

3 審査の概要

この経営健全化審査は、市長から提出された資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が、適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

4 審査の結果

審査に付された資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。

資金不足比率は、次のとおりである。

区 分	平成24年度	早期健全化基準	平成23年度
湯 沢 市 水 道 事 業 会 計	0.0 %	20.0 %	0.0 %
湯 沢 市 簡 易 水 道 特 別 会 計	0.0 %	20.0 %	0.0 %
湯 沢 市 下 水 道 特 別 会 計	0.0 %	20.0 %	0.0 %

いずれの会計にも資金不足額は生じておらず、資金不足比率は算定されないが、経営環境は依然として厳しい状況であることから、今後さらに改善に努め経営の健全化を図られたい。